

# 学校団体 大原美術館ご来館までの流れ

◎ご来館のお申し込みは、ご来館を希望される日の1か月前までをお願いいたします。

## STEP 1

当館ホームページ内の「学校団体予約フォーム」からお申込みください。  
お申込み後、予約完了のご連絡をメールでお送りします。

## STEP 2

ご来館しての打ち合わせや下見を希望される場合は、当館ホームページ内の「事前下見のための申請フォーム」から申請してください。※必要な場合のみ

## STEP 3

ご来館の一週間前を目安に、当館担当者より、来館時の確認事項についてご連絡いたします。

## 入館料について

大原美術館入館料【本館／工芸・東洋館／児島虎次郎記念館】

未就学児童	小・中・高校生	一般
無料	500円	2,000円

※団体料金はございません。

## 授業および部活動で当館を利用する学生・引率料金について

### 基本の料金：

成人引率者（教員および保護者）の料金は、学生の人数に対し、未就学児童の3割、小～高校生の1割の人数まで学生料金。それを超える場合は一般料金とします。

### 支援学校の場合：

支援学校の学生は無料、成人引率者は、学生に対して適性と思われる人数であれば、全員無料。ご来館の前に、必ず当館ホームページ内の「入館料減免申請フォーム」より申請してください。適用は高校生までです。

### 倉敷市内の学校の場合：

倉敷市内の学生は無料。成人引率者のうち、未就学児童の3割、小～高校生数の1割まで無料。それを超える場合は、1名につき500円とします。適用は高校生までです。

# プログラムのご紹介

\*プログラムは事前に予約が必要です。

\*来館申請の際に、プログラム希望の旨を記入してお申込みください。先着順となります。  
また、時間帯や人数によって対応できないこともございます。予めご了承ください。

## PROGRAM

### 1

### ウェルカム・プログラム（10分程度）

大原美術館の簡単な紹介と、館内でのマナーについてお話しします。  
\*雨天時は、実施できないことがございますので、予めご了承ください。

## PROGRAM

### 2

### 対話型鑑賞プログラム（30分程度）

10人程度のグループで、スタッフと一緒に作品の前で感想や気づいたことを話し合いながら鑑賞を深めるプログラムです。（解説ではありません）  
\*1日1校を上限に、1回の受け入れ人数は60人まで。60人以上の団体の場合、時間差での受け入れになります。



対話型鑑賞プログラムの様子

## そのほか

\*当館YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=Sb2HM7oxX4g&t=279s> にて、「大原美術館の成り立ちについて」や「大原美術館の楽しみ方」がわかる動画をご覧ください。  
事前学習にご活用ください。

\*当館ホームページ内に所蔵作品のぬりえPDFの掲載がございます。

<https://www.ohara.or.jp/2023/05/15/4749/> 事前・事後学習にご活用ください。

\*出前講座も行っておりますので、ご希望の場合はご相談ください。  
(別途経費をご負担いただきます)



※ぬりえの作品が展示されていない場合がございます。

# 美術館の展示室で守ってほしいことは、2つだけ！

## 「作品をこわさないこと」 「他の人の鑑賞をさまたげないこと」です。

作品は、わたしたちの共有の宝物です。  
現在生きている私たちはもとより、未来の人たちの宝物でもあるのです。  
その大切な作品を守るために・・・以下のことにご協力ください！



### 作品には触らないでください

- 作品にはさわらないでください。  
手には目に見えない脂や汚れがついています。そっとさわっただけでも、長い年月のうちにシミになったり、カビが生えたりしてしまいます。
- リュックサックや帽子が作品に当たらないように気をつけてください。



### 展示室内では食べたり飲んだりしないでください

- 展示室では、飲食ができません。食べ物や飲み物が作品につくと汚れてしまいます。また、食べかすが虫をよび、作品を傷つけることがあります。
- 食べ物を持っている場合は、かばんの中にしまってください。水筒やペットボトルは、ふたをしっかりと閉めてください。



### 建物内ではふざけたり、走らないでください

- 展示室では、走ったりふざけたりしないでください。作品やほかの人にぶつかると、とても危険です。
- 作品の前にある柵で遊ばないでください。柵は作品を守るためのものです。体重をかけると壊れてしまうことがあります。



### 話すときは小さな声をお願いします

- 展示室では、小さな声で静かに見ましょう。大きな声は、ほかの人の鑑賞のさまたげになります。また、話すときのつばが作品につき、シミやカビの原因になることがあります。
- 展示室では、携帯電話を使わないでください。通話や着信音は、ほかの人の鑑賞のさまたげになります。電源を切るか、マナーモードにしてください。



### カメラ、ビデオ、携帯電話を使つての撮影はご遠慮ください

- 展示室での写真撮影はお断りしています。撮影は、ほかの人の鑑賞のさまたげや、作品を傷つけることにつながる恐れがございます。
- 作品（作者）には「著作権」があります。作者の許可を得ず、撮影したものを公開すると、著作権を侵害する場合があります。



### メモをするときのお願い

- 筆記用具は、えんぴつまたはシャープペンシルを使ってください。ペンやマジックは、作品につくと消すことができません。
- 消しゴムは使用しないでください。
- メモをするときは、まわりの人に気をつけ、ゆずりあって鑑賞してください。
- メモを床や壁、展示ケースに押しつけたり、もたれたりして書かないでください。作品に当たったり、展示物が動いて落ちたりすることがあります。下敷きになるものを用意してください。
- ワークシートを使う場合は、事前にご相談ください。
- 簡単なスケッチはできますが、長時間になる場合は、ほかの人の鑑賞のさまたげにならないよう気をつけてください。